

さいたま市長の清水勇人です。

「第17期“さいたま”あんとれすくーる」に参加した26名の子どもたちの名代として、感謝状を受け取らせていただきます。

“さいたま”あんとれすくーるは、市内在住の小・中学生を対象とした実践的なビジネス体験プログラムです。

令和2年度は「東日本の玄関口さいたま市から、東日本の元気を発信する！」をテーマに活動し、東日本連携都市の皆様のご協力により仕入れた商品を、大宮駅前に設置の交流拠点「まるまるひがしにほん 東日本連携センター」において、販売いたしました。

販売会では、子どもたちがお客様を前にリモートによる販売を実施し、山形市様の特産品である「啓翁桜」や「おみ漬け」等を販売しましたが、好評によりすべて売り切れとなりました。

この度、売上の一部を寄附したことに対して、山形市様から感謝状をいただいたこと、また、今回のビジネス体験や皆様との交流を通じて得た経験は、将来、子どもたちが社会で活躍するための大きな糧になると思います。

今後も、山形市様を始め東日本連携都市の皆様とは、さらに連携を強化し、ともに地方創生に取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きご協力をお願いいたします。